夕刊 磐城新聞
四月二十七日發行
發行所 磐城新聞 合資社
（日曜祭日翌日休刊）

途上漫筆（二）

……回之字會……　小野生

何處の町村も同様に校舍の新築は就學兒童の増加と共に行はれる。上遠野村も舊体の儘ではなかつた。寧ろ積極的に時の村長吉田氏が、一大奮發で大計劃の増築をされた。而して其の事務室や、敎室や、又應接室など、何れも山間染みでない點である。先生が第三印象のそれは事務室の床の間をつけた點であつた。これは他に餘り見ない許りでなく職員をして家庭的氣分を醸成せしむる上に、力となることに於て實に當を得て居る。

敎室が講堂と代はる可き四室の天井は何れもごろ天井である點に至つて、益々印象を深からしめた。

斯くも教育機關の完備された、校舍に於て學び得る兒童は市街地に在ると聊かの相違もない事を領かれたこれが爲めでもなからうが先生の講演はハツまれた。其熱辯は能く青年團員の期待と會附した。

回の字會の意義も徹底したのに喜ばさるを得なかつた。

湯本校は篠原校長の經營される學校であるが、玆に新校舍と舊校舍の二校がある、兒童の増加に惱まされた。湯本町も舊校舍用地に苦しめられ増築が困難となつて地を天王崎に相して新校舍を建設した。其の當時新校舍地點に引き移す筈であつたそうだが決行するに至らず、新舊に別れて居る午前中舊校に居る可き校長が何時しか新校に現はると云ふ様な事を繰返されるのも是非もな[illegible]うが、其れが果して[illegible]統一、進むで兒童教[illegible]の上に好影響を齎すか否かは、少くとも基礎教育を重要視する具眼の士の放忍すべき所でなからうと思つた。

湯本は其名に於て温泉を想像させる、而して現在の温泉は昔日の觀あるかどうか。炭山は限りがある、無盡藏視すべき温泉の保護に果して力を注がれつつあるか、湯本は何と云ふても温泉に生くる素質がある、この苦言湯本町民諸士が容るの雅量あるや否や。

入日（童謡詩）

原田小太郎

草むら
あかあか
入日に映へる

紅とんぼ
よはよは
入日に赤い

稲の穗
ゆすつて
入日はさぶい

鳴子
からから
入日にうすい。

秋の夜

大川赤夢

病氣で寂しい
ねえさまの
お部屋に光る
白い月

庭に落葉は
積つて〻
こうろぎのなく
聲がする

たれが吹くのか
寂しいな—
尺八の音が
きこえるよ。

時代警語

（）世の中は鏡である…………（サッカレー）
自分が不愉快で世の中を睨んで見れば世の中の人も睨み返し笑つて見れば世の中の人も笑つて之に對するものである。要するに泣いて暮らすも笑つて暮らすも吾れと我身の心柄である…………

拈華微笑

靖國神社臨時大祭に方り玆に虔みて在天の雄魂毅魄を祀る
◇
野球と云へば直に聯想さるる縁田兒弟の南町。捷ちは當然か
◇
石城のメーへイモーホでなくメーデー猛歩はなからうと觀測
◇
その抵抗力が無いからの結核だゴオン、ゴホン
◇
逓税の多い昨今そと輪に一部横着者のコスイ割申告

社會の今日

4月28日
△名工左甚五郎歿す（寛永一一）△京都府を置く（明治元）△樞密院設置（同二一）△朝鮮漢江で發動機船顚覆四十名溺死（昭和六）

○
藻草生ふ噴井の底のうす緑　諸人
行春や雪洞積みし一車　黒馬

講談 お蘭陀お蝶

(14)　渡邊默禪作　布施長春畵

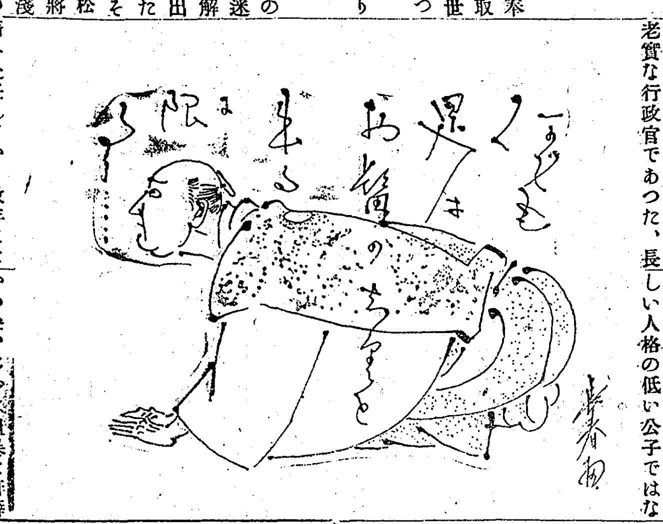
『よし是より立ち歸つて奉行な連れ出して參れ予が取持ちないたいて其方に一世一代の娛樂ないたさせてつかわさう』

『は、畏まりましておざりまする』

『早ういたせ』

但馬にとつては有難いのやら、恐ろしいのやら、迷惑のやら我身ながら譯が解らぬ、夢心地で虎屋を飛出して奉行の役宅へ驅附けた

奉行曾我又右衞門吉祐はその報告を聞いて驚いた、松平長七郎殿といへば二代將軍台徳院秀忠公の夫人で淺井備前守の息女、於江與の方——豐太閤の養女——の腹に生れた三代將軍家光公の弟、駿河大納言忠長卿の息で家光公とは實に叔父甥の間である父忠長卿は驕傲放肆の擧動をかさね居城を大阪に移して關西の副將軍たらんことを要求するやら淺間山の猿狩りにいはれもなく侍臣を斬り殺すやら金箔附の發狂者となつた爲めに、高崎の城主安藤右京之進重長に預けられ、幽閉中自害をして果てた、その後に取殘された長七郎殿は儒者大橋龍慶預けとなつて學問武藝の修業中、二人の侍臣を伴に飄然江府を去つて更に行く所を知らずと聞いてゐた、それが突然此の長崎に現はれるとは、如何に心得難い[illegible]だと思つた



崎へ赴任してから數年になるが未だ曾つて丸山の青樓と云ふものを垣間見たこともない、それを目にするのは今が破天荒である、月煙る櫻の宵、畫くに似たる瓊の樓臺に哀糸脆竹の音色、さても艶なる賑ひぞと驚いた。虎屋の見世先に駕を乗つけて用人に案内申入れさせると、亭主の文藏が驅出して來て土下座をせぬばかりの待遇、何卒此方へと道いたが狭からぬ庭園を通つて花嘯く池の碧へ其の半を架け渡させた、涵殿亭と名づくる茶寮であつた長七郎郎は徹夜の宴を張られて近習三宅宅兵衞、田村平平次の外此の廓での尤物を漁らせて左右にはちりと侍らせ色濃き花紅葉に綺羅の中に不平の醉を沽つて在し〻。

かつた、多少は粗暴な疳癖もあつたがなれど磊落な豪放な義氣のある、意地の强い寧ろ『江戸子氣質』を帶びてゐたことがその行動を見ても解せられる、さればこそ孤劍飄然山河を踏み破る數百里に[illegible]氣な平民的旅行も企てられたのである。我[illegible]は過つて見る迄は果して眞物かどうか、眞物であるとしても餘り香しくないお方であらうと實は肚の底で見做つてゐたと其の立ち振つた人品氣韻といひ淡泊な應對振りと云ひ下ざまの人情風俗に通じてゐる話振りといひ凡べてが豫想外であつたので是はとばかり敬服もし、叉内々薄氣味惡くも感じた、それは萬一己れの行政上の欠點でも睽れた日には一身の破滅直ちに來るのが假にも公方家の御連枝、其の儘に打捨置いたなら由々しい失体にもなると折柄風邪の氣味で寢てゐたのを强いて枕をはなれ、禮服着用で駕を丸山に向けさせた飛ぶ鳥落とすご奉行殿がいかめしいカミシモ姿で深更に傾城町へご出張とあるこれや長崎開闢以來の椿事！奇觀！

奉行曾我叉右衞門は勤直老實な行政官であつた、長奉行に伺候との知らせに直ちに女們を遠ざけてお目通りある、曾我は恭々しくぬかづいてご安着の祝儀、御出迎へをしなかつた、詫言などを鹿爪らしう申し述べた此方は後世の歌舞伎にその名を謠はるる程の人物である惡しざまに評すれば父忠長卿の遺傳で神經質な、インテンペランスな貴族だとも謂へるが決して思慮の乏しい人格の低い公子ではな

殺活權を、その背後に負てゐるからである、何でも是はおひげの塵と出るに限る覺えさへ愛でたければ又吉い事もあらうと、必死と祭り上げた、そこへ突け込んだ様に打ち解けた失策話薄雲の一件を持ち出して如何にかならぬかとの御意長七郎どの外交術を鵜呑みにしてご座る。

ラヂオ

…二十八日（木曜）…　仙臺 JOHK

△前六、三〇A ラヂオ體操
△九、〇〇A 氣象通報
△九、一〇 料理献立（蕗とがんもどきの甘煮和へ）東北女子職業學校 日用品値段（鮮魚るい）
△一〇、三〇A 婦人講座（昭和婦人の自覺に就て）田邊きん子
△正午 A 時報
△後〇、〇五A 常磐津（松の羽衣）
△〇、四〇A ニュース 氣象
△二、一〇A 第二師團凱旋部隊歡迎狀況（仙臺驛構内より中繼）
△六、〇〇A 運動競技（六大學野球リーグ戰試合狀況）
△三、四〇A 氣象
△四、〇〇A ニュース
△六、〇〇（子供の時間）お話（源義經）中瀨武
△六、三〇A 英語講座（中等科）佐川春水
△七、〇〇A ニュース

○千葉省三氏 童話集『惣坊主』（東京、古今書院發行、價九十錢）＝マルトモ書店にて取次ぎます。

△七、三〇H 趣味講座（劇化せる千松の死）金德淳
△八、〇〇A 謠曲（鞍馬天狗）
△八、五〇A 新講談（幕末の三傑人）伊藤痴遊
△九、三〇A 時報
△九、三一C 奉天より
△九、四〇A ニュース 氣象

夜間診療
胃腸 内科 十二指腸虫病 専門 内科部
梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 専門 外科部
松村胃腸性病科醫院（平南町電話一〇七番）

セダン揃ひで！
貸切専門の！
昭和タクシーへ
三四三番（サシミ）

新學期の
御裁縫用具
澤山入荷致しました。
田町 ハシモトヤ糸店

耳、鼻、咽喉科 氣管食道科 專門
平町南町（電一〇七番）
大和田醫院
大和田郡司
（自炊の便あり）

内臓外科一般 外科花柳病科（入院隨意）
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

メリヤスとタビ
モリタヤ洋品店
平5丁目 電353

本日より『魚榮』自慢の大蒲燒の外に江戸一流の職人を迎へ！味と体裁の良い都壽司を始めました。御引立を願ひます。
都々逸
私しや都で生れた御壽司 味と体裁みておくれ
すいもあまいも腕前一つ 江戸で覺えた都壽司
鰻者呼ぶにも御壽司がよかろ 腹をたたいて三味を聞く
うな丼 金三十五錢 金五十錢

大蒲燒 割烹 壽司 仕出し
田町 魚榮
電話四二四番

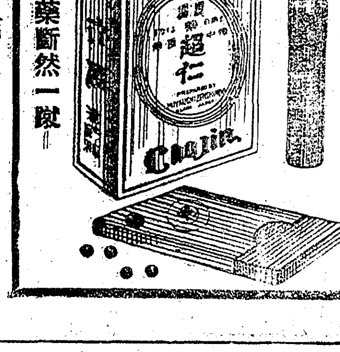
耳鼻咽喉科專門 日本醫大院長醫學士 鈴木正男
齒科口腔外科 日本齒科科長醫學士 鈴木喜政
下谷區入谷町二九一 入谷改正通り東交番前
鈴木醫院

肺一期二期の人、ロクマクの人……
心配無用
不治の病とは過去の事です。醫藥を用ひて捗々しくない方靈能偉力を有する『マムシ』を用ひて下さい。
但し素人の幼稚なる『マムシ』の服用法にては効果ありません。今回研究部員が秘法公開致します遠慮なく相談にお出下さい。
◎特におすすめ致し度い方説明書差上ます。
心臓病の人、胃腸病の人、性力欠乏の人、神經衰弱の人、体力の衰てろ人、食慾なき人、冷性婦人病の人、腎臓病の人
東京市淺草田島町九一 川上蛇類研究所
代理販賣所 平町五丁目二二（金光堂時計店裏） 井内

奏効的確たる美神淋藥 四圓五十錢 八圓
毒退治ヨーデツ丸 二圓 五圓
地方代理店 山野邊藥局 平町五丁目角

美神丸

子宮病コシケ
子宮坐藥の王、最も多くの全快者と、最も多く賣行を示す大評判の美神丸!!家庭で手輕に薫症の婦人病も秘密に治し、しかも一日當り僅か五錢。
本藥を販賣しないと婦人間に信用なき店と見做されるとの評判です信用を重んじ一流の藥店として繁栄せんとする方は今すぐ御取扱ひを一。
特約募集

懷中良藥
超仁（てうじん）
銀粒
朗らかな美音・消化と殺菌
特約店募集

從來懷中藥斷然一蹴
各地藥店にあり

吉田眼科病院
平町紺屋町

專門 一般内科
内科ハ何デモ診療致シマス 呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五（電話一八一番）
川井内科診療所
醫學士 川井重之
女醫 川井安子

郷土人の自慢
愈々完成した 天下の偉觀 愛谷江堰
來賓關係者六百名參集 あす盛大に竣功式

國庫補助十三萬二千五百圓縣負擔四萬七千五百圓地元寄附八萬五千圓合計二十六萬五千圓の巨費を投じて昭和二年に起工以來五ヶ年の歲月を費してこの程竣功した愛谷堰並に江筋改修工事竣功報告祭並竣功式は既報の順序により明二十八日午前十時から堰の傍ら廣場において中央及縣當局及地方有志來賓その他多數關係者約六百名出席の上擧行することになつた。

×

愛谷、江筋は明治十九年の用水(江筋のこと)關係組合委員山崎宗平青木半三郎、永山泉七郎氏等の奔走によつて大改修を施されたがその後洪水毎に取入口附近の崩壞或は護岸の決潰等で平町外三ヶ村六百五十餘町歩の水田が甚大な被害を蒙つてきたゝめ關係農民は死活問題となして躍氣になり主務省と縣當局に改修方を根氣よく迫つてゐた。

×

それが奏効し大正十二年に主務省から技師が出張詳細なる調査を遂げいよ〳〵工事の急なる事が判明して昭和二年十一月十三日に地鎭祭を執行し續いて工費二十六萬五千圓の內第一期工事として好間川サイホン式外護岸架樋等に八萬五千圓を投じさらに第二期として十六萬圓で堰の改良に昨年から着手したのであるが、自動閘閉裝置と言ひ、好間川のサイホン式工事と言ひ東北には類例のない事業である。

嘘八百も少くない 戶數割の申告書
例外は額を高めて資格保持のトリツク
町村役場惱まさる

各町村では地方税に關する法律に依る昭和六年所得稅額申告及控除申請書を發付して申告を求めつゝあるが資產と所得に依る申告の內容がハツキリと呑み込めない者が多く如何に申告して來ても曖昧の點が多々ありこれを基調として賦課し得られないのでこうした方面に對しては吏員を派して一應內容に亘つて調査する必要があるなど所得の申告をめぐつて相當多忙を極めてゐるがこゝにあまりにも皮肉なのは實際上の資產なり所得よりも殆ど倍加にして申告してくる者があるが、これ等は勿論堂々たる大請負師は全然別ものとして極めて資力の薄弱なその方面の關係者に多く所得申告に依る稅の多きことに依つて請負師としての資格を保持するといふ醜いカラクリに依る結果に外ならない、然も稅の率を斯樣に倍加にしてゐる不條理漢があるので町村當局ではこの弊風を打破すべく本年はつとめて嚴密に調査する方針らしく觀察される、因に該特別戶數割は一戶を構ふる者及一戶を構へざるも獨立の生計を營む者に賦課するの規定であるから納稅義務ある者は今月一日現在で夫々今月末日迄に所轄役場へ屆出でねばならぬ規定で期間內申告を怠ると老幼(六十歲以上十四歲未滿)不具癈疾者に對する控除(所得千圓以下一人付五十圓、二千圓以下同三十圓、三千圓以下同十(五圓)が受けられぬ事になつてゐる

精鋭胡摩澤捷つか 常勝南町優勢か
けふの青年野球決勝戰

一昨二十五日降雨の爲第二回戰の終末に近づいた頃惜しくもドロンゲームとなつた平町青年分團對抗野球競技は今二十七日午前十一時より第一校庭に於て國井(球)渡邊、水竹(壘)三君審判の下に南町對五丁目の試合を再開したが結局九對三で南町快勝し午後から新川町對胡摩澤の試合に入り十九對四で胡摩澤捷ち結局と勝戰は精銳南町と胡摩澤決の間に行はれ最後の兩雄相對峙して大接戰中である(午後三時稿)

世界館捷つ
對五丁目野球戰

平町五丁目青年分團對世界館從業員の野球試合は昨二十六日午後一時から平第三小學校庭で行はれたが七A對五で世界館の勝となつた

須藤書記表彰

平町役場書記須藤鶴之助氏は縣稅務功勞者として二十九日の天長節に縣から表彰される

石城のメーデー
さしたる事は無さそう 却て炭鑛以外を注視

來月一日のメーデーに際し本郡は炭鑛地帶なる丈け相當の動きあるべき土地柄であるが常磐坑夫組合も最近は殆ど有名無實の形で從來も特に表立つた運動が無かつた處から平署特高係では今年の如きさらでだに炭況不振の折柄勞働者が運動がましい擧に出ぬであらうと觀測して居るが却て昨秋來些か擡頭の氣運にある全農組合が中心となつて動き出すでは無いかと當局では其れとなく監視の目を瞬つてゐるものの如くである

滿蒙視察 受付開始

東京鐵道局主催管內各驛後援の滿蒙視察團體は經費二百五十三圓で六月五日から二十日の豫定で行はれるが平驛でも本日から申込の受付を開始した

奇蹟的に邂り近ひ 喜んだも束の間
初めて見た父再た不明

田人村大字旅人字唐澤川崎藤三妻きくの(三〇)は二才の折家庭の事情から實父越野辰吉(五六)に別れ母親と共に親戚で養育されたが數年前母親に死別し父知らぬ身の心淋しく思つてゐた處昨年秋湯本町某家で身の上を語つてゐるうち不思議にも初めて見る父親に邂り近ひ同町郵便局附近で木挽職をしてゐると聽かされたので最近その住所を探ね廻つたが皆目行方が判らぬので警察の手を借りたいと今二十七日淚ながらに平署へ願ひ出た

消毒と抵抗力で 病菌を追ひ拂へ
けふの結核豫防宣傳

今二十七日の第八回結核豫防デーに當り平署では午前十時自動車五臺に伊藤署長を始め酒井醫師會長、多田井青年團長、看護婦數名外多數警官が分乘し之を二班に編成して樂隊とメガホンを以て主旨を宣傳し『病者の公德は多數の同胞を救ふ路傍にタンを吐く者は日本人の恥と知れ』等の標語を印刷したチラシ六萬枚を隈なく撒布した外各町村要所に標語入りビラ數百枚を貼付した、尙ほ郡醫師會では會員總動員して各町村各々講演會及無料健康診斷等を行ひ主旨の徹底に盡力した尙は平町では町衞生會、青年團と協力左記宣傳ビラを各戶に配布した

◎結核病は我國に近頃非常に多くなつた、年々約十萬人の犧牲者を出してゐる、國民は協力一致して本病の撲滅を計らねばならぬ。

◎結核病は結核菌の侵入によつて起る傳染病である結核菌が冐す所によつて名があります。

△肺を冐せば肺病となり△腸を冐せば腸結核となり△腦を冐せば腦膜炎となり△肋膜や腹膜を冐せば肋膜炎や腹膜炎となり△肛門を冐せば痔瘻となり△骨を冐せば骨膜炎や骨疽となる

◎結核菌の病毒は肺病患者の痰、骨膜炎や骨疽患者痔瘻患者等の膿汁等に混つて外界に出て傳播するのです。

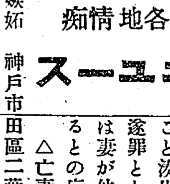
◎結核菌は常に抵抗力の弱き人を冐す。抵抗強き人は病菌が侵入しても發病せぬ、故に結核の豫防撲滅の法は次の二點である。

痰や膿を散らぬよう其病毒を能く消毒すること

小兒の時から充分抵抗力を養ふこと。

病毒を消毒するには〈一〉結核患者を早く知ること 二、痰や膿は必ず消毒壺へ 三、本病死者の使用した凡てのものは消毒又は燒却すること 四、貸家貸間古着古本の消毒

抵抗力を養ふ〈一〉、日々快活なる氣分にて活動せしむ 二、日光に親しみ新鮮なる空氣に接すること 三、合理的營養、適度の運動、充分なる睡眠は抵抗力增進の秘訣にして健康增進の基なること



各地情痴ニユース

△妄想から嫉妬 神戶市林田區西番町一丁目衛生組合人夫金島喜代松(四〇)は外出先で飲酒歸宅するなり座敷に立つてゐた妻ますの背後から隱し持つた手斧をふるつて同女の頭部に一撃を加へ瀕死の重傷を負はせたこと湊川署で探知、殺人未遂罪として取調べ中、原因は妻が他の男と姦通してゐるとの妄想から

△亡妻戀しく 神戶市林田區二葉町七丁目堀田喜芳方同居人川崎電氣職工森田强(三三)は酒の勢で猫イラズを服用したが死に切れず更に剃刀で腹部を切つたところを家人が發見目下兵庫病院で加療中一命は取止めるらしい、原因は妻君子の死を悲しんだのである

△血染めの復緣 福岡縣京都郡城井村字內の垣農與太市(三〇)は同郡上高屋村農松野末吉方に侵入し就寢中の末吉(五七)同ウメ(三三)の兩名が眠りを覺ますや携行の刺し身庖丁を揮つて二人を慘殺して逃走、間もなく所轄行橋署へ自首して出た、原因はウメに對する復緣を斷られたため

△婦人に抱きつく 東京市麴町區永田町二の一二野口辰雄方加藤たか(三二)が同區霞ケ關一の一地先を通行中一人の男が後から同人を抱き込み怪しからぬ振舞に及ばんとしたので霞ケ關交番へ驅込み斯と申告痴漢は直に捕はれた、右は麴町區内幸町一の五カフエー都亭西川榮方雇人等江田弘德(二〇)と判明將來を戒めて歸宅させた

△牛方と密會 岐阜縣吉城郡小鷹利村大字信包牛馬宿乘飲食店森下卯太郎(五四)が元妻であつた古川町中氣多飲食店井上より(四六)並に小鷹利村信包牛馬商中川淸道(二六)の兩名を姦通罪で告訴した事件は檢事局送りとなつた、よりは商用で出入りしてゐた淸造と昨年八月から九月へかけて不義を重ねてゐた事が明るみへ出されたものである

博覽會餘興場で 濱三郡對抗花角力
明後廿九日から開催

漸く會期の半ばを過ぎた平町の昭和產業博は殘る半月間に一層の人出を唆るべく明後二十九日より第二會場に演藝場を特設公開する事になつた旨昨報の通りであるが更に一部の同好者は同日より柴田曲馬團あとの博覽會餘興場で濱三郡對抗花相撲を開催する事となり參加力士の勸誘其他目下夫々準備を進めてゐるが各方面からの景品寄贈も頗る多く前人氣旺んである

磐中生醵金
愛國機の爲に

磐中では目下愛國機福島號建造獻金募集中で近く取纏め送附の手續をなすと

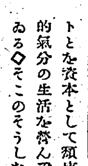
錦村の情婦殺しに 懲役十三年求刑
三十日 判決言渡し

昨年十一月九日午後七時半頃錦村大字大倉の共同墓地に於て情婦木田サツ(四九)の頸動脈を羅紗鋏の毀れた一方を利用せる小刀で刺し殺した當時住所不定日雇業信夫郡瀨の上町生れ梅枝末藏(四五)に係る殺人事件の公判は當人が陪審裁判を辭退した爲昨二十六日午後一時から平支部に於て中島裁判長係り關口、竹內兩判事陪席市川檢事關興、眞木辯護人立會開廷裁判長の訊問に對し兇行當時に於て被害者が殺される事を承諾したと云ふ事實を述べた外何れも豫審の供述を認め終つて檢事の論告に入り

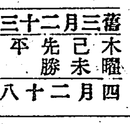
サツが殺される事を承諾したと云ふ辯解であるが兇行の場所から一間半以上に亘る血痕から觀て當人が逃げ廻つたのは明かであり且つ被告の供述にもあつて殺意充分と認むべきものがある、他人の妻を奪つた罪輕からざるに加へ遺兒をして母なし子たらしめたる事は人道上の大罪惡である

と懲役十三年を求刑し辯護人の減刑論あり四時半延廷三十日午前九時判決言渡しある筈

豔罪黑白



◇大タヒラの一端に、女性の臥像の如く座る町！その南町こそは斷然開放された桃色の町だ。◇そこには數多くの女が己の肉體とペツトとを資本として猥唐的氣分の生活を營んでゐる◇そこのそうした社會での女王！エムはそこに集る男性達からミス、南町の稱名を與へられてゐた◇南町の女王である彼女は從つて別な方面の女王でもあつた◇新らしい女性がこの社會に入り込んで來ると必ず彼女から實地指南を受ける事になつてゐた◇その實地指南とは果してどのやうな事であらうか、それはやがてこの一篇の中に於てエムにより親洛にも亦懇切な指南をされるであらう◇よせよ活辯の眞似なんか……！。



舊三月二十三日　木曜　己未　先勝　平　井宿　四月二十八日

諸判定應需　東京市本郷區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神誠館

▲一白の人 我意を行ひ才力を恃はず輕進して事成らず▲二黑の人 平穩の中にも根氣強くせざれば物事調はず▲三碧の人 蹉跌多きも識者の力を藉りて展開するを得▲四綠の人 心緩かに圓滿をむねとすれば良好に向ふべし▲五黃の人 萬事堅實なる時は有利に向上を來たすべし▲六白の人 外形を整ふるも內實の虛なるが如き不安日▲七赤の人 物事後戾りを呈し易し堅實に進めば完成る▲八白の人 目上の引立あり意外の出世をみるべき吉日▲九紫の人 勞力を費す程利益の生じ來る日金談調はず

資金借逃げ
石城に居るらしい と平署へ搜索願

宮城縣黑川郡富谷村字町一二〇茶行商人加藤吉藏(四三)は去月中仙臺市國分町一六二後藤宗助方から仕入資金二百六十圓を借りたまま夜逃げしたので搜索中常磐炭鑛方面を行商中らしいとの事で今二十七日宗助から搜索方を平署に願ひ出た

。。。。。第三選手猛練習 平第三校では來月五日磐中主催のリレーに必勝を期し日躍、祭日を問はず磐中競技部選手を招き猛練習中である

。。。。。平青年團總會 來月八日マルトモホールに開催の豫定である

。。。。。軍人會幹部參拜 在鄉軍人平分會幹部は今二十七日午前九時から松ヶ岡公園忠魂碑に參拜した

バスケツトボール試合
平第二對第三

平第二對第三の男女バスケツトボール試合は來月中行ふ筈で兩校とも目下練習中であるが該競技は町內三校とも今月より開始したもので追々對校試合が行はれるものと豫想さる

清野產看校長 協贊委員囑託

平產婆看護婦學校長清野キヨ氏は日本赤十字社福島支部平町分區協贊委員に囑託された

女中入用
十六、七才位のもの一名
(炭礦社宅住込み)
姓名在社

。。。。。東京の男へ說諭願 江名町中之作自轉車店平井春三郎は去る一月十三日東京市外巢鴨町向原三五〇九小林鶴吉方森下登(二八)に二十五圓で中古自轉車一台を賣り內金五圓を受取つたのみで其後再三請求したにも拘らず更に支拂ふ樣子がないばかりか十六日は金が拂へぬから自轉車を返濟すると云つて來たので今二十七日春三郎から登への說諭方を平署に願ひ出た

。。。。。老人が旅費哀願 安積郡喜久田村堀之內八島豐田貞家(五〇)は中風で半身不隨な處から食ふに困り赤井村福島炭礦に居る身寄を尋ねて來たが行方が知れぬので今度は水戶の親戚を尋ねるべく昨二十六日平町役場に旅費の惠與方を願ひ出た

外務社員募集
年齡二十七八以上四十四五位迄妻帶ニシテ
奮鬪ノ士五名採用ス
固定給ヲ支給致シマス。履歷書御送附被下い。面會日御通知致シマス
東洋生命特務支部
平町字鍛冶町二十一番地
支部長 小林房吉

此度聚樂館南隣りの『世界』と云ふカフエーを私の姉が經營する事になりました。姉は人の好い割に不運な身の上でした弟として私は何とか幸福な老後を送らせ度いと存じます。何卒皆樣ひいきをしてやつて下さい。
辱知各位
伊東一

度量衡。計量器。
吸入用酸素。
酸素吸入器。
關內藥局
電話四〇番

タクシーの御用命は
是非 尼子タクシーへ
親切 安全 第一を主義と致して居ります
電六四〇番
主任 澤正路

橫濱植木株式會社特撰
草花、蔬菜類
優良種子
各種賣出し致しました。
農園藝やく品の御相談は
西村屋藥局
電 三 番